Allied Telesis

レイヤー2plus 10ギガビット・インテリジェント・スイッチ

CentreCOM® x250シリーズ

5年保証

オール10G対応

VCStack

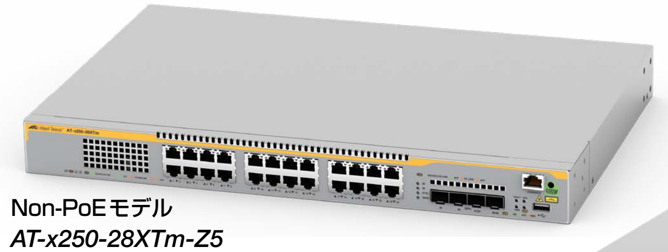
Non-PoEモデル ファイバーモデル

AW Plus　AMF Plus

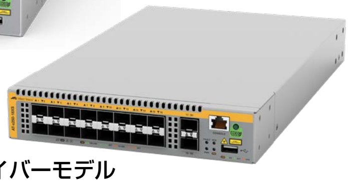
Switch

EPSR　LOOP Guard　VCS　AMF SEC

SWITCH Total Networking Solutions



Non-PoEモデル
AT-x250-28XTm-Z5



ファイバーモデル
AT-x250-18XS-Z5

SFP+モジュール/10Gスタックモジュール
AT-SP10TM-Z5
AT-SP10SR-Z5
AT-SP10LRa/I-Z5
AT-SP10ER40a/I-Z5
AT-SP10ZR80/I-Z5
AT-SP10BD10/I-12・13-Z5
AT-SP10BD20-12・13-Z5
AT-SP10BD40/I-12・13-Z5
AT-SP10BD80/I-14・15-Z5
AT-SP10TW1・3-Z5
AT-StackXS/1.0-Z5

マネージメントケーブル
AT-VT-Kit3

SFPモジュール
AT-SPSX-Z5　AT-SPSX2-Z5
AT-SPLX10a-Z5
AT-SPLX10/I-Z5
AT-SPLX40-Z5
AT-SPBDM-A・B-Z5
AT-SPBD10-13・14-Z5
AT-SPBD40-13/I・14/I-Z5
AT-SPBD80-A・B-Z5

※「-Z5」はデリバリースタンダード5年加入権利付き
※ 本データシートでは、100BASE-TX/1000BASE-T/2.5GBASE-T/5GBASE-T/10GBASE-Tを100/1000/2.5G/5G/10GBASE-Tと表記しています。

CentreCOM x250シリーズは、全ポート10G速度に対応し、Non-PoEモデル、ファイバーモデルをラインナップするレイヤー2plus 10ギガビット・インテリジェント・スタッカブルスイッチです。

AT-x250-28XTmは、100M/1000M/2.5G/5G/10Gをサポートしたダウンリンクを24ポート持ち、アップリンクは最大速度10GのSFP/SFP+モジュール対応スロットを4スロット備えます。UTPケーブルを用いた2.5G/5G/10Gの高速通信に対応した端末との接続を実現します。AT-x250-18XSは18ポートすべてがSFP/SFP+スロットとなっており、ファイバーインターフェースを持つサーバーなどの機器を集約接続可能です。

最大2台までのCentreCOM x250シリーズを仮想的な1台のスイッチとして構成するVCS(バーチャルシャーシスタック)に対応しています。冗長性の確保や、Non-PoEモデルとファイバーモデルを混在させた構成など柔軟な構成を実現します。

さらにAutonomous Management Framework Plus(AMF Plus)に対応し、CentreCOM x250シリーズはAMF Plusメンバーとして、多様化・複雑化するネットワークの設計・構築や運用・管理の簡素化/効率化します。

本体にサポートサービス(デリバリースタンダード)の加入権をバンドルした型番をご用意しています。デリバリー2、デリバリー6、またはオンサイトサービスをご希望の場合には、加入権がバンドルされていない型番にてご購入いただき、別途有償サポートサービスをご契約ください。

AT-x250-28XTm
100/1000/2.5G/5G/10GT 24Ports自動認識
SFP/SFP+ 4Slots

AT-x250-18XS
SFP/SFP+ 18Slots

「省エネ法」に基づく表示

区分
A

回線ポートの種類・数
AT-x250-28XTm: 10Gbps×28
AT-x250-18XS： 10Gbps×18

最大実効伝送速度
AT-x250-28XTm: 280.0Gbps
AT-x250-18XS： 180.0Gbps

エネルギー消費効率
AT-x250-28XTm: 0.4W/Gbps
AT-x250-18XS： 0.2W/Gbps

OPTION
- SFPモジュール
- SFP+モジュール
- スタックモジュール
- 壁設置ブラケット
- コンソールケーブル
- L字型電源ケーブル
- フィーチャーライセンス

AT-x250-18XS
- 19" ラックマウント キット
- スタンドキット

本データシートでは、製品名中の「CentreCOM」を一部省略しています。
弊社では、ネットワークマネージメント・ソフトウェア製品のお試し版を、Webサイトから提供しております。弊社ホームページ(http://www.allied-telesis.co.jp/support/list/nms/)からダウンロードできます。

2024年4月

特長

●AlliedWare Plus（AW+）
機能ごとのモジュールに分割されており、単一の障害が与える影響範囲を最小限に抑えることが可能です。これにより、旧来方式の製品と比べシステム全体の可用性が格段に高まります。また、業界標準のコマンド体系に準拠し、他社製品からの移行においても、エンジニアの教育にかかる時間と経費を大幅に削減することができます。

●ネットワークインフラのユニファイド化
Autonomous Management Framework（AMF）は、ネットワーク上のスイッチやルーターを仮想的な1台の機器として統合管理し、管理運用の「一元化」、「簡素化」、「自律化」によって、管理・運用に関わるコストの削減を実現するネットワーク仮想化機能です。AMF Plusは統合管理を行うAMF Plusマスターと管理されるAMF Plusメンバーからなり、6つの機能によりネットワークの統合管理を行います。
また、AMF Plusは日々ネットワークの状態を収集分析によって学習し、AT-Vista Manager EXと組み合わせてお使いいただくことで、あらかじめ定義されたポリシーを用いて自動的にネットワークを最適な状態に保ちます。蓄積したデータを数値化することにより、担当者の経験で行われていた業務を平易な作業に落とし込むことができます。

- **一元管理（セントライズドマネージメント）**
  AMF Plusマスターから多数のAMF Plusメンバーを一元管理します。
- **自動構築（オートレジリエントコネクション）**
  AMF Plusネットワークの自動構築およびAMF Plusメンバーの自動認識を行います。
- **自動復旧（スマートプロビジョニング）**
  AMF Plusメンバー設置時の自動設定（ゼロタッチインストレーション）、AMF Plusメンバー故障時における交換機器の自動復旧（オートリカバリー）、複数AMF Plusメンバーに対するファームウェアの一括アップグレードや設定変更、一括バックアップを行います。
- **非AMF Plus装置対応（ワイドエリアバーチャルリンク）**
  非AMF Plus装置の混在や広域商用回線を介したAMF Plusネットワークの構築が可能です。
  さらに、広域商用回線を介して本機能を利用しているAMF Plusメンバーの自動復旧にも対応します（ネイバーリカバリー、シングルノードリカバリー）。
- **分散マスター処理（AMF Plusコントローラー）**
  AMF Plusマスターの分散配置と統合管理により、大規模ネットワークに対応します。
  さらに、AMF PlusとAT-Vista Manager EXと連携させることにより収集・分析されたネットワーク全体の情報を俯瞰的に可視化し、ネットワーク管理者の意図に基づいてネットワークを最適な状態に保ちます。
- **AMF Plusを用いた簡単マイグレーション**
  x250シリーズはスマートプロビジョニングにより、先行シリーズから機器を入れ替えるだけで自動的に設定が移行できます。本機能により、ネットワークのアップグレードをゼロタッチで実現でき、アップグレードに必要な工数を大幅に削減します。
  本シリーズではx210/x220/x230/XS900MXシリーズからの入れ替えに対応しています。

x250シリーズはAMF Plusメンバー装置に対応しており、Wi-Fi6アクセスポイントなどの高速通信機器を導入する際に、既存のスイッチと入れ替えるだけで、CLIでの再設定やケーブルの配線をし直すことなく、Wi-Fi6アクセスポイントの高速通信速度に応えるマルチギガビット通信を提供します。
オール10Gのネットワーク環境を構築することも可能です。

●VCS（バーチャルシャーシスタック）
スイッチ間をスタックリンクで接続することで、1台の仮想スイッチとして扱うことができます。VCSグループは、最大2台のx250シリーズを組み合わせて構築できます。本シリーズは、SFP/SFP+スロット、100/1000/2.5G/5G/10GBASE-Tポートのいずれかを用いたVCSに対応しています。
スタック接続されたスイッチは各種情報を同期しているため、仮に1台に障害が発生しても運用継続が可能です。
スタックすることでエッジ・スイッチながらコア・スイッチ同様にCPU、電源冗長が可能となります。コアからエッジまで一貫した冗長構成を容易に取ることができます。
単一IPで動作するため機器の追加時もIP設計や監視ポイントの追加が不要で容易にネットワークを拡張できます。
LD-VCS（ロングディスタンスーバーチャルシャーシスタック）にも対応し、長距離スタッキングが可能です。これにより、離れたロケーションにあるスイッチを仮想的に1台のスイッチ化し、シンプルかつ冗長性に優れたネットワークコアの提供が可能となります。

●10Gマルチギガビットに対応
AT-x250-28XTmは、UTPカテゴリー5eのケーブルを使用して2.5G/5Gでの通信が可能な、マルチギガビットレートのインターフェースを全ダウンリンクポートに搭載しています。
さらにカテゴリー6以上のクラスのケーブルを使用すると10GBASE-Tの通信も実現でき、高速通信の集約にも対応できます。

●EPSR
EPSR（RFC3619）は、レイヤー2レベルでの障害の検出と経路の切り替えをより高速に行います（最短50ミリ秒未満）。
本製品は、EPSRリング内にトランジットノードとして接続することができます。

●ループガード
LDFやMACスラッシング検出など多彩なループガード機能により、接続ミスなどで発生したネットワークループを自動検出し、設定した動作（ポートディセーブルなど）を自動実行するループガードに対応しています。LEDの点滅で視覚的に表示されるため、該当ポートを容易に特定することができます。

特長

●充実したセキュリティー機能

- **強固な認証機能をサポート**
  同一ポート上でIEEE 802.1X認証/Web認証/MACアドレスベース認証の混在を可能とするTri-Auth機能や、同一ポート上でユーザーごとに別々の認証方式で認証し、かつ異なるVLANを動的に付与するマルチプルダイナミックVLAN機能など様々な認証機能に対応し、柔軟な認証環境を実現します。
  - Tri-Auth、マルチプルダイナミックVLAN、エンハンストゲストVLAN、Auth-fail VLAN、プロミスキャス/インターセプトWeb認証、2ステップ認証に対応
- **多種多様なセキュリティー機能の搭載**
  通信内容を暗号化し、安全なリモートアクセス環境を実現するSSHや、ネットワークの集中管理・運用面においても安全性と利便性・運用性を両立するSNMPv3の暗号化・認証機能など、様々なセキュリティー機能をサポートしています。
  - ポートセキュリティー、SSH(Secure Shell)、DHCPスヌーピング、SNMPv3、ユーザー認証データベース(RADIUS/TACACS+認証)に対応

●AMF-SECソリューション対応

AMF-SEC(AMF-SECurity)は、ファイアウォールやUTMなどのセキュリティー・アプライアンスや、人材管理・資産管理などのビジネス・アプリケーションなどとネットワーク機器を連携させ、ネットワークも含めたITシステムの設定変更やセキュリティー管理を自動化するソリューションです。
本製品は、AMF-SECソリューションにおけるエッジ・スイッチとして動作し、例えばファイアウォールと連携するとファイアウォールが検知した被疑情報をもとに、該当する被疑端末が接続されているスイッチのポートを自動的に遮断することで被疑端末の隔離ができます。これによりIoT端末などでのLAN内の二次感染を防ぐことが可能です。

※1 サポートするSDN/OpenFlowコントローラーは、AMF-SECコントローラー(AT-SESC/AMF Security)です。また、構成によって最低限必要なライセンスが異なります。AMF-SECコントローラー、および連携可能なアプリケーションについては、弊社ホームページにてご確認ください。

●Web GUIを用いた直感的な管理

WebブラウザーからWeb機器の情報表示や設定が可能なWeb GUIを標準でサポートします。
管理者のスキルレベルを問わない、直感的なネットワーク管理が可能です。

- **日本語に対応したインターフェース**
  日本語表示に対応し、Webブラウザーからの視覚的な設定・管理が可能です。
- **ダッシュボード**
  ポートの状態、トラフィック統計情報、システム情報など視覚的に表示します。各種情報を要約して表示できるため、複雑なネットワーク情報を簡単に把握できます。
- **ネットワーク設定**
  VLANインターフェースやインターフェースのIPアドレス、スタティック経路の追加・変更・削除が可能です。
- **セキュリティー設定**
  ハードウェアアクセスリスト(ACL)の作成やインターフェースへの設定、変更が可能です。
- **システム設定**
  システム情報や動作環境の詳細、システムログの閲覧などが可能です。

●RESTCONF/NETCONF

RESTCONF/NETCONFを使用した機器の各種情報の取得をサポートしております。従来のSNMP管理と比較して、より柔軟な管理、管理者の運用負荷やコストを削減したネットワーク管理を実現可能です。

●保守運用性

USBオートブートをサポート。機器設定やファームウェアを保存したUSBメモリーから起動することで、PCレスで設定・ファームウェアバージョンアップ作業が可能になるため、機器交換時やメンテナンス時の作業負荷を軽減し、保守運用性の向上が図れます。

仕様

準拠規格	CentreCOM x250シリーズ共通	
	IEEE 802.3z 1000BASE-LX/SX※1, ※2 IEEE 802.3ab 1000BASE-T※2 IEEE 802.3ah 1000BASE-BX10※1, ※2 IEEE 802.3ae 10GBASE-ER/LR/SR※1, ※2 IEEE 802.3an 10GBASE-T※2 IEEE 802.3az Energy-Efficient Ethernet※3 IEEE 802.1D-2004 Spanning Tree, Rapid Spanning Tree※4 IEEE 802.1Q-2005 VLAN Tagging, Multiple Spanning Tree※5 IEEE 802.1X Port Based Network Access Control IEEE 802.1AB Link Layer Discovery Protocol IEEE 802.1AX-2008 Link Aggregation (static and dynamic)※6 IEEE 802.1p Class of Service, priority protocol IEEE 802.1ad Provider Bridges(Q-in-Q) IEEE 802.1ag Connectivity Fault Management ITU-T G.8032 ERPS	
	AT-x250-28XTm	
	IEEE 802.3u 100BASE-TX IEEE 802.3bz 2.5GBASE-T/5GBASE-T	
適合規格	CE	
	安全規格	UL62368-1, CSA-C22.2 No.62368-1
	EMI規格	VCCIクラスA
	EU RoHS指令	

マネージメント※7	SNMP	SNMPv1/v2c/v3
	SNMP MIB	MIB II(RFC1213) Extended Bridge MIB(RFC2674)※8 Extended Interface MIB(RFC2863) SNMPv3 MIB(RFC3411～RFC3415) SNMPv2 MIB(RFC3418) Ethernet MIB(RFC3635) IEEE 802.3 MAUs MIB(RFC3636) Bridge MIB(RFC4188) RSTP MIB(RFC4318) DISMAN ping MIB(RFC4560) Entity MIB(RFC6933) LLDP MIB(IEEE 802.1AB) LLDP-MED MIB(ANSI/TIA-1057) Private MIB
	RMON	1,2,3,9 Group
	ターミナル	Telnet、VT100互換端末(コンソールポート経由)
通信速度	AT-x250-28XTm	
	100Mbps/1000Mbps/2.5Gbps/5Gbps/10Gbps	
	AT-x250-18XS※2	
	1000Mbps/10Gbps	

仕様

項目	細目			
ポート	100/1000/2.5G/5G/10GBASE-T（RJ-45コネクター）	AT-x250-28XTm		
		×24		
	オートネゴシエーション※9 100M/1000M/10G Full固定設定 MDI/MDI-X自動認識、MDI/MDI-X固定設定			
	SFP/SFP+スロット	AT-x250-28XTm	AT-x250-18XS	
		×4	×18	
	RS-232（RJ-45コネクター）	×1※10		
	USBポート（USB 2.0、タイプA（メス））	×1※11		
使用ケーブル	100BASE-TX	UTPカテゴリー5以上		
	1000BASE-T	UTPエンハンスド・カテゴリー5以上		
	2.5GBASE-T			
	5GBASE-T			
	10GBASE-T	UTP/STPカテゴリー6以上※12		
切替スイッチ	LED ON/OFFボタン	LEDの消灯（エコLED）、通常動作の切り替え		
パフォーマンス※13	スイッチング方式	ストア＆フォワード		
	最大パケット転送能力（装置全体/64Byte）	AT-x250-28XTm	AT-x250-18XS	
		416.66Mpps	267.85Mpps	
	スイッチング・ファブリック	AT-x250-28XTm	AT-x250-18XS	
		1.08Tbps	840Gbps	
	メモリー容量	フラッシュメモリー	256MByte	
		メインメモリー	2GByte	
	MACアドレス登録数	32K		
	VLAN登録数	4,094個（VID=1〜4,094）		
サポート機能【ベーシック機能】	AMF Plusメンバー機能、ハードウェアパケットフィルター、VLAN（ポートベース/IEEE 802.1Qタグベース/IPサブネットベース/プロトコルベース）、マルチプルVLAN、UFO（Upstream Forwarding Only）、QoS（IEEE 802.1p/ポリシーベース/メータリング/シェーピング）、ポートトランキング（IEEE 802.3ad LACP/Manual Configuration）、パケットストームプロテクション（ブロードキャスト/マルチキャスト/未学習ユニキャストパケットフィルタリング）、イーサネットCFM（IEEE 802.1ag）、スパニングツリー（IEEE 802.1D/IEEE 802.1w/IEEE 802.1s）、BPDUガード、BPDUフィルター、スパニングツリーポートファスト、PVST+ Compatibility、イーサネットリングプロテクション（EPSR）、EPSRエンハンストリカバリー、G.8032（ERPS）、ポート帯域制限、ポートミラーリング、リモートミラーリング、ポートセキュリティー、アクティブファイバーモニタリング※14、LLDP、LLDP-MED、Voice VLAN、ループガード（LDF検出/MACスラッシング検出/受信レート検出（QoSストームプロテクション））、IEEE 802.1X認証モード（Single Host/Multiple Host/Multiple Authentication）、802.1X暗号方式（MD5/TLS/TTLS/PEAP）、ダイナミックVLAN、エンハンスト ゲストVLAN、Auth-fail VLAN、マルチプルダイナミックVLAN、マルチVLANセッション、MACアドレスベース認証、Supplicant MAC認証、Web認証、プロミスキャス/インターセプトWeb認証、2ステップ認証、ポート認証設定テンプレート化、ローカルRADIUSサーバー、RADIUSクライアント、TACACS+（Accounting/Authentication/Logging）、IGMPv2/v3スヌーピング、EAP/BPDU透過、Jumboフレーム対応※15、LD-VCS（ロングディスタンスバーチャルシャーシスタック）※16、バーチャルシャーシスタック、スイッチポートレジリエンシーリンク、DHCPクライアント、DHCPスヌーピング、Pingポーリング、ARP、SMTP認証、ログ（外部メディア出力対応）、スクリプト、トリガー、NETCONF、NTP、Secure Shell、sFlow、マネージメントスタック、TFTP/Zmodem/HTTPによるソフトウェア/設定ファイルダウンロード、IPv6 Basic、IPv6-SNMPv1/v2c/v3、MLDv1/v2スヌーピング、DHCPv6クライアント、DHCPv6リレー、HOLブロッキング防止、Findme、UDLD			
サポート機能【ライセンス機能】	アプリケーションライセンス（AT-x250-FL03）			
	ダブルタグVLAN			
	OpenFlow機能ライセンス（AT-x250-FL15）			
	OpenFlow1.3対応			
LED	100/1000/2.5G/5G/10GBASE-TポートLED※17			
	L/A	緑	2.5/5/10Gbpsでリンク確立時に点灯、パケット送受信時に点滅	
		橙	100/1000Mbpsでリンク確立時に点灯、パケット送受信時に点滅	
	SFP/SFP+スロットLED※17			
	L/A	緑	10Gbpsでリンク確立時に点灯、パケット送受信時に点滅	
		橙	1000Mbpsでリンク確立時に点灯、パケット送受信時に点滅	
	ステータスLED			
	POWER	緑	電源供給時に点灯	
	FAULT	赤	本製品起動中に点灯、ファンまたは内部温度の異常発生時に点滅	
	VCS	緑	VCS機能が有効で、スタックメンバーのマスターとして動作時に点灯	
	USB	緑	USBメモリー装着時に点灯、USBメモリーの書き込み/読み出し中に点滅	
		橙	USBメモリーの書き込み/読み出し異常発生時に点滅	
電源部	定格入力電圧	AC100-240V※18		
	入力電圧範囲	AC90-264V※18		
	定格周波数	50/60Hz		
	定格入力電流	AT-x250-28XTm	AT-x250-18XS	
		2.0A	2.0A	
	最大入力電流（実測値）	AT-x250-28XTm※19	AT-x250-18XS※20	
		1.8A	0.79A	
	平均消費電力	AT-x250-28XTm※19	AT-x250-18XS	
		130W（最大160W）	38W※21（最大70W※20）	
	平均発熱量	AT-x250-28XTm※19	AT-x250-18XS	
		480kJ/h（最大570kJ/h）	140kJ/h※21（最大250kJ/h※20）	
環境条件	動作時温度	0〜50℃		
	動作時湿度	5〜90%（結露なきこと）		
	保管時温度	-25〜70℃		
	保管時湿度	5〜95%（結露なきこと）		
外形寸法（突起部含まず）と質量	AT-x250-28XTm	AT-x250-18XS		
	440（W）×290（D）×44（H）mm	210（W）×346（D）×42.5（H）mm		
	4.0kg	2.7kg		
パッケージ内容※10	AT-x250-28XTm			
	本体、電源ケーブル※18、電源ケーブル抜け防止フック、19インチラックマウントキット（1式）、ゴム足（4個）、本製品をお使いの前に、梱包内容、英文製品情報※22、製品保証書（5年間）、シリアル番号シール（2枚）			
	AT-x250-18XS			
	本体、電源ケーブル※18、電源ケーブル抜け防止フック、ゴム足（4個）、ゴム足用ネジ（4個）、本製品をお使いの前に、梱包内容、英文製品情報※22、製品保証書（5年間）、シリアル番号シール（2枚）			
オプション（別売）	CentreCOM x250シリーズ共通オプション			
「-Z5」はデリバリースタンダード5年加入権付製品※23	CentreCOM x250シリーズ用フィーチャーライセンス※24 ※25：			
	AT-x250-FL03-Z5	アプリケーションライセンス		
	AT-x250-FL15-Z5	OpenFlow機能ライセンス		
	SFPモジュール※26：			
	AT-SPSX-Z5	1000BASE-SX（2連LC）		
	AT-SPSX2-Z5	1000M MMF（2km）（2連LC）、広範囲温度対応		
	AT-SPLX10a-Z5	1000BASE-LX（2連LC）		
	AT-SPLX10/I-Z5	1000BASE-LX（2連LC）、広範囲温度対応		
	AT-SPLX40-Z5	1000M SMF（40km）（2連LC）		
	AT-SPBDM-A・B-Z5	1000M MMF（550m）（LC）		
	AT-SPBD10-13・14-Z5	1000BASE-BX10（LC）		
	AT-SPBD40-13/I・14/I-Z5	1000M SMF（40km）（LC）、広範囲温度対応		
	AT-SPBD80-A・B-Z5	1000M SMF（80km）（LC）		
	SFP+モジュール※26：			
	AT-SP10TM-Z5	1000/10GBASE-T（RJ-45）※27		
	AT-SP10SR-Z5	10GBASE-SR（2連LC）		
	AT-SP10LRa/I-Z5	10GBASE-LR（2連LC）、広範囲温度対応		
	AT-SP10ER40a/I-Z5	10GBASE-ER（2連LC）、広範囲温度対応		
	AT-SP10ZR80/I-Z5	10G SMF（80km）（2連LC）、広範囲温度対応		
	AT-SP10BD10/I-12・13-Z5	10G SMF（10km）（LC）、広範囲温度対応		
	AT-SP10BD20-12・13-Z5	10G SMF（20km）（LC）		
	AT-SP10BD40/I-12・13-Z5	10G SMF（40km）（LC）、広範囲温度対応		
	AT-SP10BD80/I-14・15-Z5	10G SMF（80km）（LC）		
	AT-SP10TW1-Z5	SFP+ダイレクトアタッチケーブル（1m）※28		
	AT-SP10TW3-Z5	SFP+ダイレクトアタッチケーブル（3m）※28		
	10Gスタックモジュール※26：			
	AT-SP10SR-Z5	10GBASE-SR（2連LC）		
	AT-SP10LRa/I-Z5	10GBASE-LR（2連LC）、広範囲温度対応		
	AT-SP10ER40a/I-Z5	10GBASE-ER（2連LC）、広範囲温度対応		
	AT-SP10ZR80/I-Z5	10G SMF（80km）（2連LC）、広範囲温度対応		
	AT-SP10BD10/I-12・13-Z5	10G SMF（10km）（LC）、広範囲温度対応		
	AT-SP10BD20-12・13-Z5	10G SMF（20km）（LC）		
	AT-SP10BD40/I-12・13-Z5	10G SMF（40km）（LC）、広範囲温度対応		
	AT-SP10TW1-Z5	SFP+ダイレクトアタッチケーブル（1m）		
	AT-SP10TW3-Z5	SFP+ダイレクトアタッチケーブル（3m）		
	AT-StackXS/1.0-Z5	カッパースタックモジュール（1m）		
	AT-BRKT-J24	壁設置ブラケット		
	コンソールケーブル※10：			
	AT-VT-Kit3	マネージメントケーブル（RJ-45（メス）/USB）		
	CentreCOM VT-Kit2	RS-232ケーブル（RJ-45/D-Sub 9ピン）		
	AT-PWRCBL-J01L/J01R	L字型コネクター電源ケーブル（左/右）※29		
	AT-x250-18XSオプション			
	AT-RKMT-J14	19インチラックマウントキット		
	AT-RKMT-J15	19インチラックマウントキット（トレイ）※30		
	AT-STND-J03	スタンドキット※31		

※1 対応SFP/SFP+モジュール装着時
※2 （ファイバーモデル）対応SFP/SFP+モジュール装着時
※3 100/1000/2.5G/5G/10GBASE-Tポートのみ
※4 IEEE 802.1w Rapid Spanning Tree包含
※5 IEEE 802.1s Multiple Spanning Tree包含
※6 IEEE 802.3adと同等
※7 トラップ情報は、弊社ホームページにてご確認ください。
※8 Q-BRIDGE-MIBのみサポート
※9 100M/1000M/2.5G/5G/10G Full Duplexでの接続のみサポートしています。
※10 本製品にはコンソールポート接続用ケーブルは同梱されておりません。また、出荷時はIPアドレスが付与されておりませんので、別途、マネージメントケーブル「AT-VT-Kit3」またはRS-232ケーブル「CentreCOM VT-Kit2」をご用意ください（AT-VT-Kit3には、別売のUTPケーブルが必要です）。
なお、AT-VT-Kit3のUSB使用時の対応OSは、弊社ホームページにてご確認ください。

仕様

※11 USB 2.0のUSBメモリーをご使用ください。また、ご使用の際には、お客様の使用環境で事前に検証を行ったうえで導入してください。

※12 隣接したケーブルや外部からのノイズの影響を低減するため、STPケーブルの使用をお勧めします。

※13 表中では、K=1024

※14 SFP/SFP+光ファイバーポートでのみ有効。本機能をサポートするSFP/SFP+モジュールについては、コマンドリファレンスをご覧ください。

※15 10,240Byte

※16 対応スタックモジュール装着時

※17 LED ON/OFFボタンによって消灯可能（エコLED）

※18 同梱の電源ケーブルはAC100V用です。AC200Vでご使用の場合は、設置業者にご相談ください。

※19 AT-SP10TM×4個 使用時

※20 AT-SP10ZR80/I×18個 使用時

※21 AT-SP10SR×18個 使用時

※22 日本語版マニュアルのみに従って、正しくご使用ください。

※23 Zは「デリバリースタンダード」、下1桁目は提供年数を表します。

※24 ライセンスのサポートバージョンについてはリリースノートおよびアニュアルライセンス/フィーチャーライセンスページをご参照ください。

※25 VCS構成でフィーチャーライセンスの各機能を利用する場合は、VCSマスターおよびVCSスレーブの双方に同一のフィーチャーライセンスが必要です。

※26「広範囲温度対応」付きは、動作時温度が-40～85℃のSFP/SFP+/スタックモジュールです。

※27 1000M/10Gでの接続のみサポートしています。

※28 ダイレクトアタッチケーブルは、弊社製品同士での接続のみサポート対象となり、他社製品との接続はサポート対象外となります。他社製品との接続が必要な場合は、ダイレクトアタッチケーブル以外のSFP+モジュールを用いて、事前に充分な検証を行ったうえで接続するようにしてください。

※29 電源ケーブル抜け防止フックとの併用はできません。

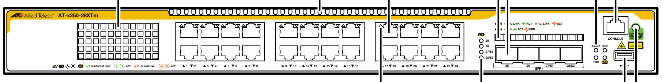
※30 L字型コネクター電源ケーブルとの併用はできません。また、AT-x250-18XSでAT-RKMT-J15を使用する場合には、最前面から60mm後ろに取り付けることはできません。

※31 設置方向（電源コネクターの位置）によっては、L字型コネクター電源ケーブルが使用できない場合があります。

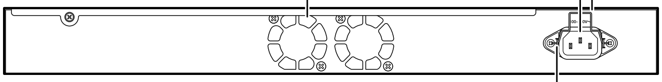
外観図

AT-x250-28XTm

前面

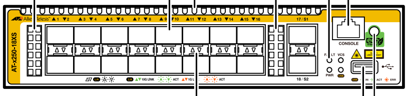


背面

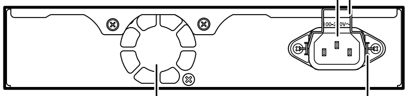


AT-x250-18XS

前面



背面



※ コンソール接続にはオプション（別売）のAT-VT-Kit3またはCentreCOM VT-Kit2が必要です。

安全のために
ご使用の際は製品に添付されたマニュアルをお読みになり正しくご使用ください。

●CentreCOM、CentreNET、SwitchBlade、TELESYN、AlliedView、VCStackロゴ、EPSRingロゴ、LoopGuardロゴ、PoE plusロゴ、AT-UWC、Allied Telesis Unified Wireless Controller、SecureEnterpriseSDNロゴ、AT-VA、AT-Vista Managerはアライドテレシスホールディングス（株）の登録商標です。●Windows、Windows Server、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。●その他、会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。●仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。●お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しまたは「外国為替及び外国貿易法」にいう非居住者へ提供する場合、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の輸出関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うことといたします。●弊社販売製品は日本国内仕様であり、日本国外においては製品保証および品質保証の対象外になり、製品サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。

ネットワーク構築などのご質問やご相談は　0120-860442 テレマーケティング（月～金/9:00～17:30）

販売店

製品のくわしい情報は（特長、仕様、構成図、マニュアル等）　ホームページ http://www.allied-telesis.co.jp/

アライドテレシス株式会社
〒141-0031 東京都品川区西五反田7-21-11 第2TOCビル

最寄りの営業所の連絡先は下記にてご確認ください
弊社ホームページ»会社案内»事業所一覧